

2006年9月20日
東日本旅客鉄道株式会社

2006年度「踏切事故〇運動」の展開について

- ドライバーの方に踏切の前での一旦停止ルールの再認識ともしもの時の踏切内でトラブルにあった場合の脱出方法をPRします。
- ドライバーの方にアピールするために、社会への影響力が大きいテレビ、ラジオ、新聞及び山手線トレインチャンネルによる展開を行います。
- 「踏切事故^{ゼロ}〇運動」は平成3年から継続しています。

1 実施期間・エリア

- 「2006年9月21日（水）から2006年10月20日（金）まで」の期間実施します。
なお、この期間中には秋の全国交通安全運動も行われます。
- JR東日本管内全エリアで実施します。

2 具体的な展開方法

当社における今年度8月末日までの踏切事故は20件発生し、その多くがドライバーによる無理な踏切への進入によるものです。また、最近では踏切内に閉じ込められた際、自動車の脱出が間に合わずに列車と衝撃する事故例が続いていますので、ドライバーへ踏切の前での一旦停止と踏切内に閉じ込められた場合の脱出方法を再度アピールします。

3 その他

- 当社管内の踏切等において、パンフレット配布により踏切事故防止の啓蒙をアピールします。
- 配布用パンフレットは、ドライバーに踏切の前での一旦停止ともしもの時の脱出方法をアピールする目的で作成しました。
- 多くのドライバーに「踏切の前での一旦停止」の交通ルールを守ることの大切さと、もしもの時、確実に踏切内から脱出する方法を再確認していただくため実施します。



近年、踏切内に車が閉じ込められるという
トラブルが増えつつあります。その原因の
ほとんどが「一旦停止を怠ったため」でした。
踏切の前では必ず一旦停止をお願いします。



踏切の 脱出方法 講習中。

あわてずに、そのままゆっくり前進してください。シャス棒は車で押せば、前方に跳ね上がります。

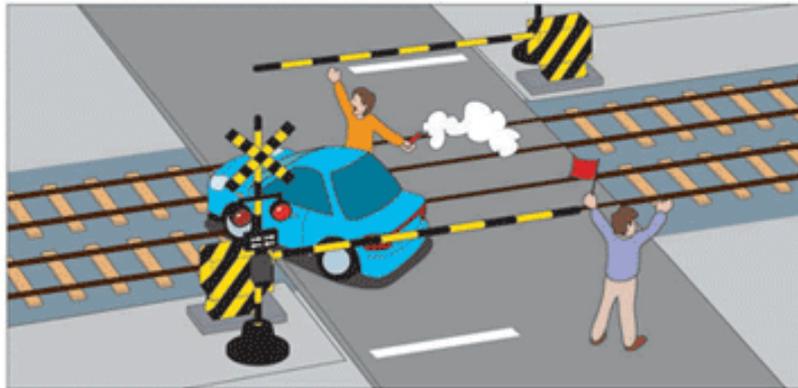


もし踏切内に車が
閉じ込められたら

忘れないで、一旦停止。踏切事故0運動

踏切内で脱出できなくなった時は、 まず列車を止めてください。

列車に向かって手を大きく振るなどして、危険を知らせてください。
発炎筒や赤色灯(旗)を使用すると効果的です。



非常ボタンがある時は

カバーの上から強く押してください。信号機が作動し、列車に異常を知らせます。



踏切では、規制標識の表示をよく確かめてください。

そうなる前に、踏切の前では必ず一旦停止をお願いします。

踏切事故0運動